

## 「吉岡斉の仕事を考える」研究会報告書 表紙等

<https://hdl.handle.net/2324/2543944>

---

出版情報：「吉岡斉の仕事を考える」研究会報告書，2019-01-20. 「吉岡斉の仕事を考える会」実行委員会  
バージョン：  
権利関係：

# 吉岡斉の仕事を考える

2019年1月20日(日) 9:30~17:30

九州大学医学部 百年講堂 中ホール3

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

(地下鉄 馬出九大病院前、西鉄バス県庁前)

会場地図:「九大病院地区 map」で検索

私たちが敬愛する吉岡斉さん(九大比較社会文化研究科教授)が早逝されてから一年になろうとしています。3.11直前に刊行された『原発と日本の未来』は、没後も九大の書店で平積みされ、多くの学生たちが買い求めました。政府、電力業界、市民の誰とも話しのできるまれな方でした。それらは、「事実を見て、論理を組み立て、行動する」吉岡さんの姿勢に支えられたものだといえましょう。社会の中での科学技術のありようの解明を目指して、吉岡さんが到達できたこと、やり残されたことを、現時点でまとめて今後の検討につなぐ会を開きます。志のある方のご参加と、率直な議論を期待します。

## 「吉岡斉の仕事を考える会」実行委員会

中山正敏(九大理名誉教授)、綾部広則(早大理工)、川野祐二(下関市大経)、  
関東晋慈(九大博士課程院生)、丸山マサ美(九大医)

## ■プログラム

午前(9:30~12:00)

吉岡斉の活動を振り返る一著作物から見る時代区分…綾部広則(早大理工)

『科学者は変わるか』を読んで…河野洋人(東工大博士課程院生)

『資本論』と吉岡さん…福留久大(元九大教養、経済)

午後(13:00~17:30)

『科学文明の暴走過程』を読んで…中山正敏(元九大教養、理)

東北アジアの軍縮と科学技術…富樫あゆみ(九大韓国研究センター)

官僚と専門家:ムラの論理を超えて…

鈴木達治郎(長崎大核兵器廃絶研究センター)

生命倫理と吉岡さん…丸山マサ美(九大医)

吉岡斉さんが高木基金・原子力市民委員会に残したもの…

菅波完(高木仁三郎市民科学基金)

ジャーナリズムと専門家…関東晋慈(九大博士課程院生)

取り敢えずの総括…綾部広則 + 討論

参加費 2,000円 (学生・院生は1,000円)

参加ご予約の方は、できれば事前にご連絡ください。(m.nakayama@kyudai.jp)

会の記録の電子出版を計画中です。